

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	男女共同参画推進事業		
部局名	企画部	課(室)名	男女共同参画センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する	款	02総務費
施策	02男女共同参画社会の形成を推進する	項	01総務管理費
期間	平成14年度～永年	目	07企画費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	025男女共同参画推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	男女共同参画社会基本法、加古川市男女共同参画行動計画、加古川市職員男女共同参画率先行動計画		

【現状と課題】

現状と課題	少子高齢化や人口減少社会の本格化など社会情勢の変化に対応し、社会や経済を活性化させるため、男女が様々な分野でも共に参画し、責任を分担し、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現が求められている。この男女共同参画の理念をいかに早く社会に普及させるかが課題である。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
15歳以上の市民	男女共同参画センターを拠点に、男女共同参画に関する啓発事業や情報の収集と発信を実施する。また、女性の再就職等のチャレンジを支援する講座、相談事業及び市民団体グループの育成等を行う。	男女共同参画社会の実現の必要性を市民が深く知るところとなり、男女共同参画社会の構築を担う人材が育成され、女性の社会参画や男性の家庭・地域参画が増加する。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
15歳以上の市民(10/1付住民基本台帳人口)	人	229,758	232,761	233,023		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業実施回数	回	88	65	67	70	平成27年度

活動指標分析結果	事業については、概ね予定通り行った。但し、事業によって、参加者数が見込みより少なかったため、対象者・内容の見直しが必要である。			
事業費	千円	3,885	3,283	3,202

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
審議会等への女性の参画率	%				50	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		30	29.6	30.9		
事業参加者数	人		1,700	1,500	1,700	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		2,255	1,415	1,691		
活動団体数(男女)	団体		8	6	8	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		6	6	6		

成果指標分析結果	審議会などの女性委員の割合は30.9%であった。目標値を達成するために、新たな女性委員の登用を強く推進していく必要がある。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事业
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	対象を変える必要がある
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
事業は概ね予定通り行ったが、昨年度に比べ、少人数制の講座を増やしたため、事業参加者数が減っている。また、男女共同参画行動計画の視点の一つである男性や若年者に対する啓発の推進のために、今後も男性や若年者が参加しやすい事業(休日の開催やテーマの設定)を展開する必要がある。	

※事業費と財源内訳

決算額	3,202	内訳	国費	県費	市債	他	一般	3,202
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	女性団体活動支援事業		
部局名	企画部	課(室)名	男女共同参画センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する	款	02総務費
施策	02男女共同参画社会の形成を推進する	項	01総務管理費
期間	平成16年度～永年	目	07企画費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	035女性団体活動支援事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	女性団体連絡会での加盟11団体の情報交換等が活発に行われている。しかし、加盟団体の多くが、会員の減少傾向にある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
20歳以上の女性	①女性団体連絡会の開催(情報交換)②研修事業(リーダー研修、加古川刑務所女囚区参観、男女共同参画センターまちづくり講座への参加)③交流事業(東播磨地域子育てネットワーク交流大会への参加)④啓発事業(女性団体連絡会紹介チラシの作成、各団体による公開講座の開催)	市内で活動している女性団体、女性グループがお互いにその立場を尊重し、情報交換等を通して、交流連携を深めるとともに、女性リーダーの育成と団体相互のネットワーク化を図り、活力ある地域をつくる。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
20歳以上の女性(10/1付住民基本台帳人口)	人	110,942	112,409	112,427		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
女性団体連絡会事業実施回数	回	11	12	13	15	平成27年度
女性団体連絡会事業参加者数	人	341	241	315	350	平成27年度

活動指標分析結果	事業については、概ね予定通り行った。事業参加者数の増の主な要因は、東播磨地域子育てネットワーク交流大会が加古川市であり、その参加者数が増したためである。			
事業費	千円	320	125	127

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
女性団体連絡会加盟団体	団体			11	13	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		11	11	11		
女性団体連絡会加盟団体会員数	人			2,600	3,000	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		2,637	2,567	2,479		
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	加盟団体数は変わりなく、加盟団体会員数がやや減少した。
----------	-----------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的的事业
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は小
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要がありますか。	評価	対象を変える必要がある
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 毎年同じ事業になりがちなので、男女共同参画センターも積極的に企画に加わり、より効果の高い事業に改善する必要がある。また、まだ加入していない女性団体に加入を働きかけて活動を広げていく必要がある。
--

※事業費と財源内訳

決算額	127	内訳	国費	県費	市債	他	一般	127
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	加古川市連合婦人会活動支援事業		
部局名	企画部	課(室)名	男女共同参画センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する	款	02総務費
施策	02男女共同参画社会の形成を推進する	項	01総務管理費
期間	～ 永年	目	07企画費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	040加古川市連合婦人会活動支援事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	連合婦人会は、現在9地区の婦人会で構成している。消費者協会や婦人防火クラブとほぼ同じ役員で構成しており、役員の高齢化が進む傾向にある中で、新たに婦人会の団体数及び会員数とも増やすことが困難な状況である。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川市連合婦人会	加古川市連合婦人会に事業補助金を交付する。	地域を代表し地縁を基盤とする連合婦人会に対し、補助金を交付することにより、連合婦人会の運営基盤を安定させ、福祉活動や子育て支援事業等の自主事業を通じて、参加者同士または婦人会会員や住民との交流を促し、地域コミュニティの活性化、再生を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
連合婦人会	団体		1	1		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
事業実施回数	回		9	9		

活動指標分析結果	連合婦人会の子育て支援事業の実施回数は同数であった。事業は、日程変更もあったが、予定どおり実施した。			
事業費	千円	400	403	400

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
連合婦人会加入婦人会	団体			9	9	平成27年度
			9	9		
連合婦人会会員数	人		528	530	530	平成27年度
			528	579		
事業参加者数	人		322	460	460	平成27年度
			322	245		

成果指標分析結果	婦人会の地区数は、現状維持であった。婦人会の会員数は、各地区の会員数を増やしたため、全体として増加した。子育て支援事業の参加者数は、少なかった事業もあり、PRに工夫が必要である。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
補助金を交付することで、連合婦人会の運営基盤を安定させることができた。連合婦人会の活動事業を増やすことは、役員が消費者協会や婦人防火クラブも兼ねていることから、難しいと考える。また、会員数を増加させることも現状では困難である。	

※事業費と財源内訳

決算額	400	内訳	国費	県費	市債	他	一般	400
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	婦人相談員事業		
部局名	福祉部	課(室)名	こども課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	04互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する	款	03民生費
施策	02男女共同参画社会の形成を推進する	項	01社会福祉費
期間	～ 永年	目	01社会福祉総務費
事業区分	④義務的施策事業	細目	005女性問題相談事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	売春防止法・加古川市婦人相談員に関する条例・加古川市婦人相談員に関する条例施行規則		

【現状と課題】

現状と課題	制度開始当初の売春防止に関する相談は時代の変化に伴い減少しているが、現在の婦人相談員の役割として、悩みを抱える女性からの相談受け、支援を行っている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
離婚・夫婦関係・親子関係・生き方などの悩みや問題を抱える女性	婦人相談員・女性問題カウンセラーを配置し、相談に対する支援及び助言を行う。(女性問題カウンセラー配置は平成25年度まで。)	悩みや問題を解決することで、精神的・経済的などの不安を取り除き、安心して自立した生活が営める状態にする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	2,623	2,596	2,621		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	専門の相談員の配置により、相談支援ができています。しかし、女性及び家族の問題は複雑化してきており、他の機関との連携が今後ますます重要となってくる。
--	---

※事業費と財源内訳

決算額	2,621	内訳	国費	1,303	県費		市債		他		一般	1,318
-----	-------	----	----	-------	----	--	----	--	---	--	----	-------